

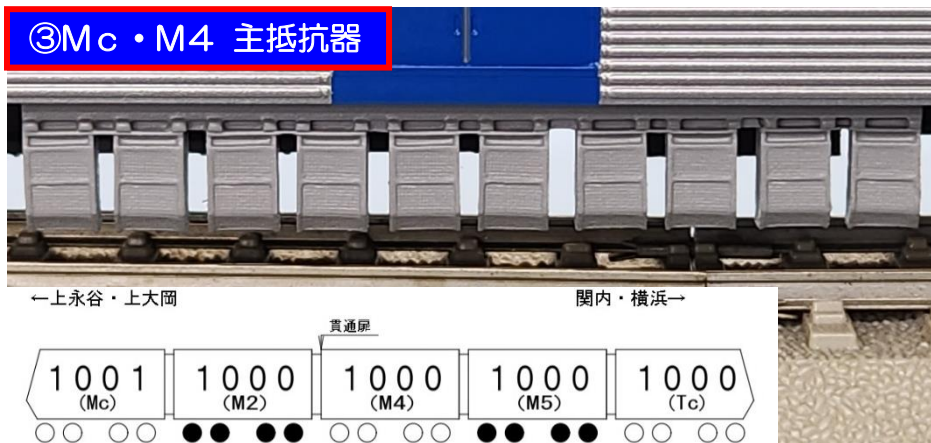
形状の異なる《妻面》を紹介！完成に向けてただいま組立て中！ 注目ポイントをチェック！



①M4 妻面(上永谷側)



②Mc 妻面 列車無線アンテナ



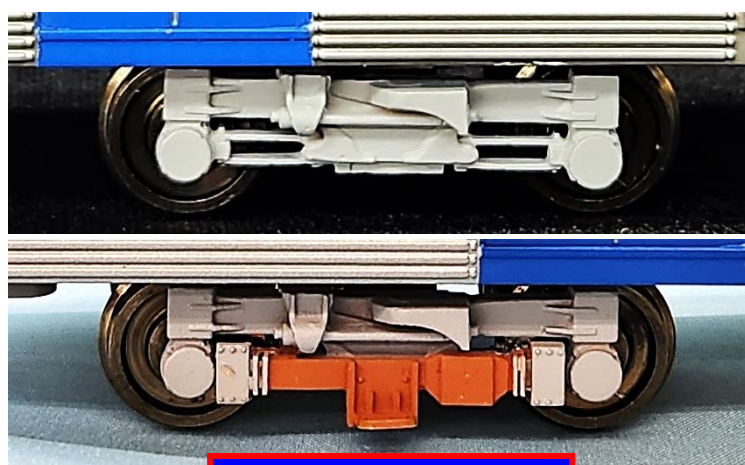
③Mc・M4 主抵抗器

## 《カツミ製 再現ポイントはココだ！④》

- ①貫通扉の有無・列車無線アンテナを忠実に再現！  
5両編成 中間増備3次車 M4(上永谷側)に貫通扉を設置  
列車無線アンテナ:Mc・Tcの妻面に設置
- ②室内インテリアの色を当時の雰囲気余すことなく再現！  
ロングシート:オレンジ色 室内床面:ベージュ色
- ③特徴的な主抵抗器は完全新規製作！  
Mc・M4の床下にずらりと並ぶ姿は、まさに壮観！



塗装した試作品が出来ました。いよいよ《8月末》発売予定！ 注目ポイントをチェック！



## 《カツミ製 再現ポイントはココだ！③》

### ①特徴的な大きな窓から見えるキャブ内を忠実に再現！

運転席後部仕切り板に設置機器をエッチングで表現！

### ②特徴的な前面ライトケースを忠実に再現！

上底側の長い台形状をしたヘッドライト・テールライトケースを実車形状通りに再現！  
塗装後のライトリムを装着した《つぶらな瞳》に注目！

### ③専用台車 FS382 はロストワックス製で新規製作！

集電靴装備車は取付け済みで再現！引き締まった足回りを黒メッキプレート車輪で再現！

### ④ドア部分の特徴的な塗装を再現！

当時の車体色を社内で検討・調色し、忠実な色合いを再現！

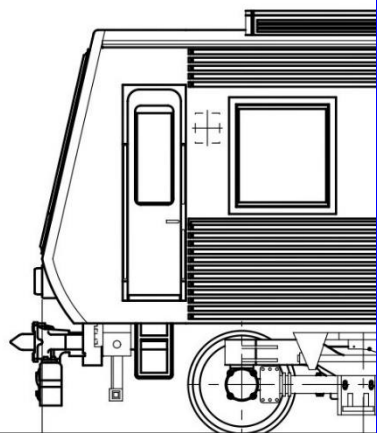


前面ロストワックス部品の《形状見直し》を行いました。運転手側と車掌側のドア位置の違いに注目！





前面ロストワックス部品の《形状見直し》を行いました。運転手側と車掌側のドア位置の違いに注目！



## 《カツミ製 再現ポイントはココだ！②》

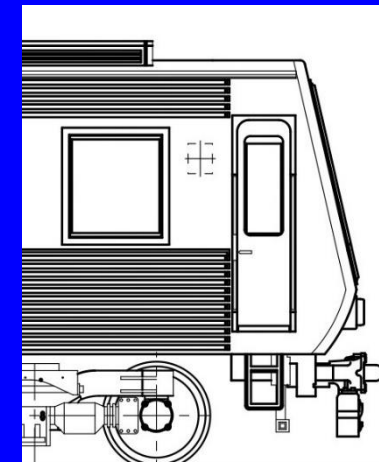
①前回試作品から大胆に《形状見直し》を実施！

検討の結果、《くの字》形状に変更を決断！

前面ロスト部品には側面乗務員ドアを表現しない形状に見直し  
運転手側と車掌側のドア位置の違いを的確に再現！

②特徴的な前面ライトケースを忠実に再現！

上底側の長い台形形状をしたヘッドライト・テールライトケースを  
実車形状通りに再現！ ライトリムは別パーツで再現します！



前回のロストワックス試作品

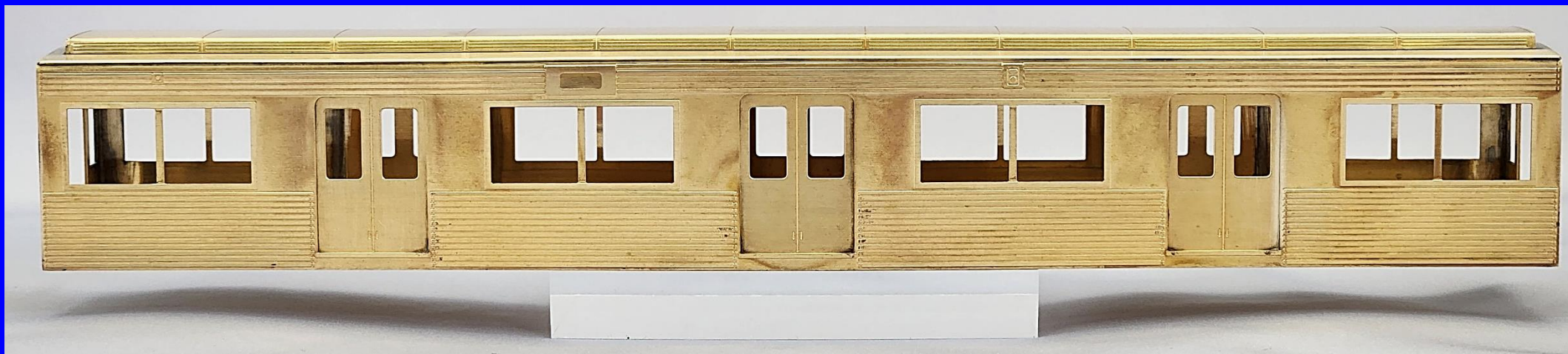


前面ロストワックス試作品 《形状変更》





中間車の試作品が出来ました。妻板、屋上ダクト、雨樋、側面行先表示器の特徴を忠実に再現しました。



## 2022 年 12 月 横浜市営地下鉄開業 50 周年を記念して悲願の製品化！

### 昭和 47 年(1972 年)横浜市営地下鉄開業！

- ・開業当初は《3両編成》だったが、当初から《6両編成化》を想定していたので車番は<①1081-②1082-③1086>と振られていた。(※第8編成)
- ・近未来的なフォルムは斬新！《宇宙船》にでも乗るかのようなワクワク感があったと...聞く。
- ・開業当初は《伊勢佐木長者町-上大岡》間だったが、5両編成の運用開始時には《横浜》まで開通していた。
- ・人気者！横浜市交通局 1000 形バッテリーカー(入換機)の活躍していた時代。

### 《カツミ製 再現ポイントはココだ！①》

①プロトタイプ:日車製2次車 ※3次車は中間2両

川崎重工製1次車との大きな違いは「行先表示器」にあり！

前面:1次車:黒縁の楕円形 / 2次車:縁のない四角形

側面:1次車:中心からオフセット配置 / 2次車:センター配置

<非冷房3両セット> 行先表示:上大岡(運用 1972 年~1977 年)

<非冷房5両セット※直営限定品>行先表示:横浜(運用 1977 年~1985 年)

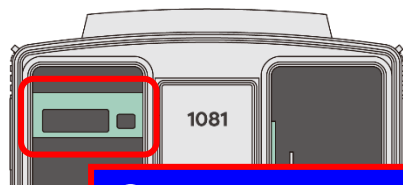
②非冷房時代は側面ドアまわりの青色がモニター直下まで塗られ、製品もそのカッコイイ姿を再現します！

③専用台車 FS382 はロストワックス製で新規製作！

①2次車の特徴的な「行先表示器」を再現  
「側面行先」はセンター配置型！



前面ロストワックス試作品



②特徴的な塗装を再現！



③専用台車を新規製作！